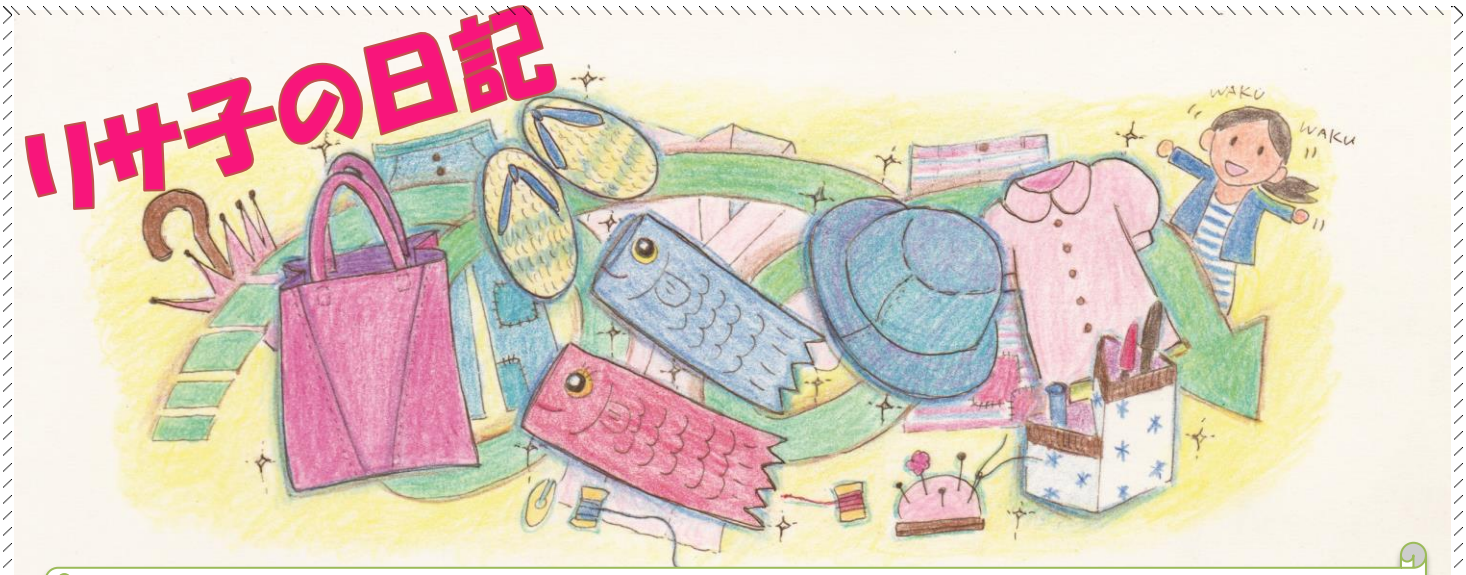
リサ子の日記



平成 30 年 7 月 27 日(金) ハンカチ、バンダナから小物作り

大事に使ってきたハンカチやバンダナを、捨てないで小物入れに

この夏は暑かったので、ハンカチやタオルでずいぶん汗をふきました。ハンカチやバンダナって、小さな布だけれど、いろいろな使い方ができます。ベルトに結んでウェストポーチにしたり、端を結んで帽子にしたり、ケガをしたら包帯の代わりにも……という話は、また別の機会にお伝えするとして。

今回は「ハンカチやバンダナから、小物入れを作ってしまおう！」という講座です。夏休み期間中なので、夏の自由研究にもなるかな？と企画しました。はさみで切ることはしません。ハンカチやバンダナを、折り紙のように折って、一部を手縫いして、紐を通したら、巾着袋の完成です。意外と簡単にできて、満足感が高い作品がたくさんでき上がりました。

さて、今回の講座ではもう１つの企画（実験）がありました。講座の合間に「打ち水」を行いました。昔の人は、夕方になると玄関前に打ち水をして涼んでいたそうですが、今はそんなことは忘れがち。「それに打ち水って気のせいじゃない？」と思うかもしれませんが、実は本当に涼しくなるんです。

放射温度計を使って、道路の同じ場所で、打ち水をする前と後の温度を測りました。打ち水をする前は「４２度」、した後はなんと「３１度！」なんと、９度も下がったのです。これには受講生の皆さんもビックリ。体感温度としても、かなり涼しくなった感じがしました。

お風呂の残り湯などを、ぜひ翌日の打ち水に活かし、涼しいエコ生活を楽しんでくださいね。